

台傾斜を変える「ゴト」 対策部品は無料提供 変更手続き忘れずに

前号でお伝えしたソフィア「ヘブンブリッジ」の「遊技機枠に強い力をかけて遊技機の傾斜を変えV入賞率を上げる」というゴトを防止するための対策部品が提供されることとなりましたので、設置店舗におかれましては最寄りの(株)西陣支店・営業所に連絡し、日程調整を行ってください。日程調整が整った店舗から、随時メーカーの

担当者により対策部品が取り付けられるとのことです。

ゴト手口として、遊技機枠に強い力を加えて下側フックを外し、傾斜を変えることでV入賞率を上げるといふもので、今回メーカーから無償提供される対策部品は、遊技機枠のフックの一部の部品を対策部品と交換することでフックが外れないようにするものだそうです。

この対策部品の設置の手続きは「変更届」扱いのことです。ただ、注意事項として公安委員会ごとに申請書類等の手続き方法が多

少異なるため、事前にメーカーから説明があるそうですので、メーカーからの説明を確認後に適切な手続きをお願いいたします。

昨年までなかったのに 2月頃から「ZEUS」 全国的な広がり見せる

昨年の1月頃に被害が多発したエレコ「バジリスク」甲賀忍法帖「絆」のセルゴトが、同じユニバーサル系のミズホ「アナザーゴッドハーデス」奪われた「NEUServer」のセルゴト被害発生が始まっ

た今年の2月頃から全国的に被害が再発しております。

ミズホ「アナザーゴッドハーデス」奪われた「NEUServer」に関しては、昨年まで被害が無かった機種でしたが、2月に発生したゴト被害の第一報は次のような状況でした。

当該遊技機を取り囲むような状況を不審に思ったホールスタッフがからの連絡で、店舗の役職者が防犯カメラの録画映像をチェックしたところ、6人組のゴトグループによつて犯行現場を隠す挙動やキャッチ行為、犯行後に打ち子へ遊技を交代する挙動が確認できました。

防犯カメラの映像には、「筐体左上部付近に手を伸ばしゴソゴソしていた」というセルゴト特有の挙動が残されていて、打ち子に交代後すぐにATに突入しました。

「甲賀忍法帖」の被害は 終息したはずが主流へ 設置店舗が多く目立つ

これらの状況からセルゴト被害と判断した店舗側は、打ち子に対して遊技台の点検や身分証明の提示を求めたが、これらを拒否したため出玉の無効と遊技の中止を伝

ゴトに勝つ 高石隆一

56

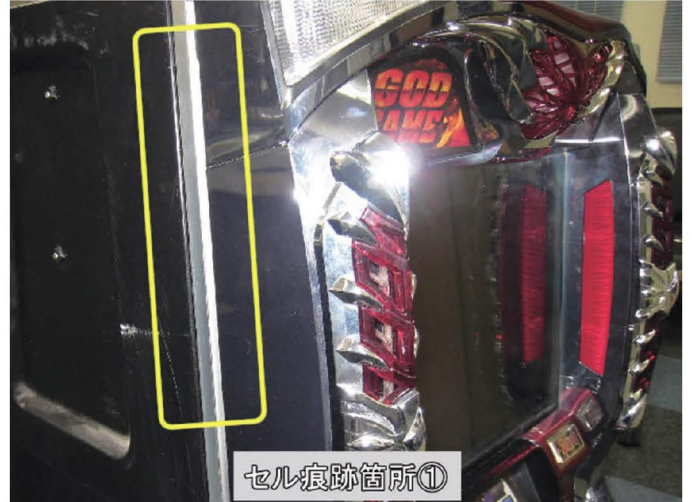
「忍法帖」などのセルゴト 「エラーコード」の確認を

えたところ打ち子は素直に退店していきました。閉店後に被害台のエラー情報履歴を確認したところ、ゴト被害発生時間に「COM ERR」(主・サブ基板間の通信エラー)が残されており、電源を入切したところ「DUNIT ERR」(下ア監視ユニット通信エラー)が発生したとのことでした。

これらの状況から「アナザーゴッドハーデス」奪われた「ZEUSver.」において、セルゴトの被害が発生している旨の警戒をアナウンスしたところ、「ZEUSver.」だけでなく、終息したかと思われたエレコ「バジリスク」甲賀忍法帖「絆」での被害事実も多数上がってきました。最近では、設置店舗の多さの関係なのか、「バジリスク」甲賀忍法帖「絆」での被害が主流になっている印象があるほど被害が目立っております。

前店舗から付いている対策部品に十分警戒を無承認変更の恐れが

被害情報のほとんどで、実行役



が「筐体左上部付近に手を伸ばしゴソゴソしていた」という共通性があり、被害に遭った遊技台の筐体左上部やパネル左側面部にセルを挿入した際に付いたと思われる痕跡が残っております。

筐体内部のセルによる痕跡は、サブ基板上部の隙間やサブ基板とサブ中継基板のジョイント部分だつたりするので、何種類かの手口がある可能性がありますので、内部を防護する場合には注意が必要です。

もちろん、防護する物を取り付けたのであれば、その物がメーカー提供の無償の対策部品だろうと



購入若しくは自作の対策部品だろうと、後付する物すべてにおいて変更届か、変更承認申請が必要になるので、忘れることなく確実に実行してください。

特に中古購入した遊技機の場合、以前の設置店舗で取り付けられたゴト対策部品などが付いたままの状態でも納品されることもあります。本来であれば、以前の設置店舗から撤去される時点で、メーカー出荷時と同じ状態に戻されてから、中古台として出荷されることが基本のはずなのですが、実際には以前の設置店舗で取り付けられた独自のゴト対策部品が、そのまま付いた

ユニバーサル

状態で納品されることも少なくありません。

このような事案であっても、無承認構造変更として罰則を受けるのは、現在設置しているパチンコ店になりますので十分な注意が必要で。4月1日から施行された「新台設置と部品交換等のルール制定」によって、このような事案がなくなることを期待しております。

おかしいと思っても

気付きにくいゲーム性

「エラーレベル」の確認を

「バジリスク」甲賀忍法帖「絆」に関しては、ゴト被害に遭った場合に液晶画面に残りATゲーム数や獲得枚数が大量に上乘せされるのではなく、ゲーム性上、セッتنا数の上乘せや継続がひっそりと行われるものとなっております。

そのため、ゴト被害に気が付くチャンスも少なく、あまりにもATが長時間継続していることから不審に思っても、すでに途中交換を何度もされた後で、大量の被害が発生していたといった残念な状況になっているケースがとても多いのです。

セルゴト対策として、すぐに実施して頂きたいこととして、各台の「セキュリティエラーレベルの確認」です。これは、以前にもお伝えしてお願いしている事案になります。ユニバーサル系でのセルゴト被害がしばらく発生していません。実施を忘れていた店舗が数多くあるようです。

ユニバーサル系の「レベル」の変更機能で感度を引き上げる手順

ユニバーサル系スロットでは、「セキュリティエラーレベルの変更機能」があらかじめ備わっていますので、セキュリティエラーレベルを上げて各種ゴト手口に備えて欲しいのです。セキュリティエラーレベル(感度)の変更方法は、発売時期によって若干の仕様違いがありますが、基本的な共通手順として感度レベルの変更には設定キーが必要です。

その手順①として、設定キーを回してホールメニューを起動させます。手順②として、十字キーを使用して「報知設定」にカーソルを合わせて「ENTERボタン」を押

します。最後に手順③として、感度レベルの変更で「HI」に設定して完了です。出荷段階の設定の【OFF】あるいは【NORMAL】から「HI」へ感度レベルを引き上げることで、ゴト行為作業時にエラー報知によって遊技停止状態になりやすくなります。

感度レベルに関しては、「バジリスク」甲賀忍法帖「絆」以降の台は【OFF】【NORMAL】【HI】の3段階の感度レベルで、「バジリス」ク「甲賀忍法帖」II」などの旧機種は出荷段階の設定の【OFF】から【ON】の2段階の感度レベルになっています。この「セキュリティエラーレベルの変更機能」で感度レベルを上げたからといって、ゴト対策が完璧になった訳ではありません。ゴトを続行不可能にさせることができる可能性が増しただけで、ゴト側が完璧なシゴトをした場合には、一切のエラーが発生しない可能性もあるのです。

異常な出玉のうえに不審な挙動を確認も一切のエラー履歴なし

感度レベルを高く設定していた

場合は、エラーが発生した段階で遊技の続行が不可能になるケースが多くなりますが、感度レベルが低いままだった場合には、表面にエラーが表示されることがなく、エラー情報履歴の記録をチェックしてみないとエラーが発生していたことがわからないというケースが多くなります。

しかし、このどちらにも当てはまらないケースとして、一切のエラーが発生しないパターンがあります。非常に悔しい事例になりますが、ある店舗の役職者の方が閉店後のデータチェックで異常な出方をしている台に違和感を覚えて防犯カメラの録画映像をチェックしたところ、当該台周辺に着席した壁役と思われる怪しい人物がナンバードラップのデータを長時間操作している不審な状況が映っており、当該台ではゴトの実行犯と思われる人物が筐体上部左側付近でゴソゴソしている挙動も映っていました。

これらの状況からセルゴトによる被害に遭った可能性が高いというので、閉店後にエラー情報履歴をチェックしてみたところ、一切のエラー履歴が残されていなか

ったのです。このような事例は、残念ながら他にも数件発生しております。

このように、上手くセルゴトをやられた場合はエラーが発生しないケースもありますが、エラー情報履歴のチェックはとても重要です。ユニバーサル系のART/ART機では閉店後のチェックは必須事項として、怪しい出方や気になる場合は営業中のチェックも実施してください。

「COMERRR」の発生自動復帰するので情報履歴を見ないと

「バジリス」ク「甲賀忍法帖」絆」や「アナザーゴッドハーデス」奪われた「NEUServer」でのエラー情報履歴の確認方法は、台鍵を左に3秒間回した状態にするだけで液晶にエラー情報履歴参照画面が表示されます。エラー情報履歴参照画面を終了するには、再度台鍵を左回しするだけで完了します。これまでセルゴト被害時にエラー情報履歴参照画面に残されていたエラーコードは、「COMERRR」「COMALTT」「BLSSI23PE」

「WDRPST」などがあります。

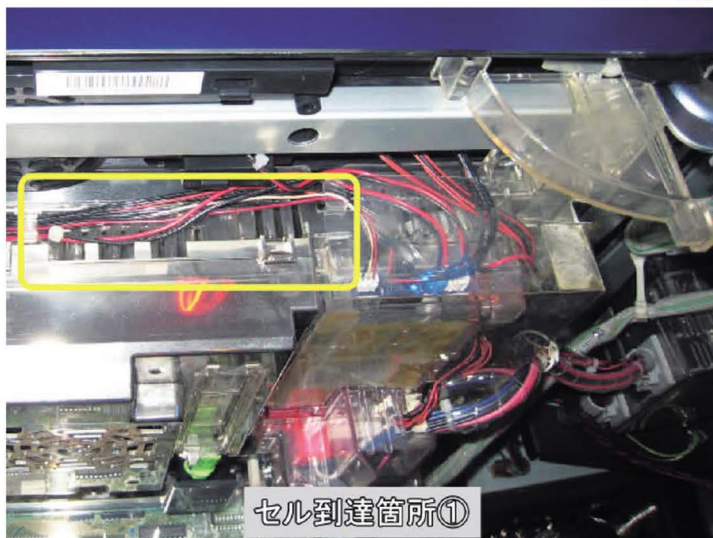
「COMERR」は、主基板とサブ基板間の通信エラーの発生を示すエラーコードで、発生しても自動復帰するのでエラー情報履歴の記録をチェックしないと気がつかないエラーコードになります。

「COMALT」は、「COMERR」と同様で主基板とサブ基板間の通信エラーの発生を示すエラーコードになりますが、感度レベル（報知設定）を【NORMAL】か【HI】にしていた場合のみ、液晶画面でエラーを報知して液晶演出が停止します。「COMALT」を解除する場合、通常のキーリセットではなく、設定変更スイッチ（リセットスイッチ）を押してエラーを解除します。セルゴト被害時に一番発生する可能性が高いのが、この2つのエラーコードになりますので特に注意してください。

毎日、エラー履歴を チェックする効果で 再度の被害を防げる

「BLS123PE」は、スロットの遊技に必要なコマンドが正しい順序で送られていない、または欠

ユニバーサル



落した場合にエラーとなった遊技コマンドが、エラー情報履歴上に赤文字で表示するというエラーコードです。「BLS123PE」の1文字ごとが遊技コマンドの頭文字となっており、「B」はメダル等の投入で、次の「L」はレバーの操作、「S」はリールの回転、「1」はリールの第一停止、「2」はリールの第二停止、「3」はリールの第三停止、「P」は入賞、「E」は払い出しを示しています。

この「BLS123PE」もゴト被害時に稀に発生することがあり、

ゴト被害であった場合はどの遊技コマンドでエラーが発生したのかよりもこのエラーが発生すること自体が問題だと思ってください。

ただ、「BLS123PE」はゴト被害以外でも発生することがあるエラーコードですので、このエラーコードが残されていた時間帯の防犯カメラの録画映像をチェックして、遊技者に怪しい挙動などがないかという安全確認を実施するようにしてください。

「WDRPST」は、遊技中に何からの要因でサブ制御基板にリセ

ットがかかり再起動したというエラーコードになります。このエラーコードは、エラー情報履歴に記録されて自動復帰するので、「COMERR」と同様にエラー情報履歴の記録をチェックしないと気がつかない可能性があります。

パチンコ店側がゴト被害に気がつかないでいると、味を占めたゴトグループに何度も被害に遭って莫大な損失が出てしまうかもしれません。閉店後に毎日エラー情報履歴に不審なエラーコードが残されていないかというチェックを実施している店舗が増えてきております。いち早く被害に気がついて、二度目の被害を防ぐための工夫はとても重要です。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち

警備会社の指導員、セキユリティー会社を経て2003年、有限会社ジャパンセキユリティサービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務める。また、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。二期二会が座右の銘。